

日本WPA総会 新事業方針「WISH」を掲げ進化

キング印刷(福島)、精英堂印刷(米沢)で工場見学会

3Wインキの普及を促進

水なしの環境優位性さらに周知

一般社団法人日本WPA(田島義典会長)は、第8期定期総会を6月8日に福島のキング印刷本社で開催し、併せて会員企業別の工場見学会を実施した。総会の議事を終えた後、5月の印刷機すべてをLED-UV印刷で運用するキング印刷の工場を見学。さらに、バスで山形県米沢市の精英堂印刷に移り、世界初のVOCフリー印刷の実演を見学した。日本WPAは、新たな事業方針として「WISH」(Waterless/Innovation/Sustainable/Humanity)を制定し、水なし印刷の環境優位性の周知を目的に、会員相互の研鑽や社会貢献を進めていく。



田島会長

開会にあたり田島会長は、会員数を増やすためにも、水なし印刷の魅力を一層見直すことが必要だと話し、事業方針を明確に定めて推進していく考えを示した。

事業方針として掲げたのは「WISH」。

「W」はWaterless。水なしの環境優位性をIGASやエコーポ、低炭素系などの機会を活用し、業界内外にアピールしていき、特に業界外へは、環境保全に先進的な企業にインパクトを与えたい。

「I」はInnovation。自らも宣言した関連のSDGs(持続可能な開発目標)の目的に沿った行動を実施し、さまざまなサービスや技術を通して、環境保全、持続的な革新のサービスを提供する。3Wインキ(Water Washable Waterless UV Ink)やサブライムチェーンのCO2排出量算定に合わせた先進的な全体排出量算出サービスなどを検討する。

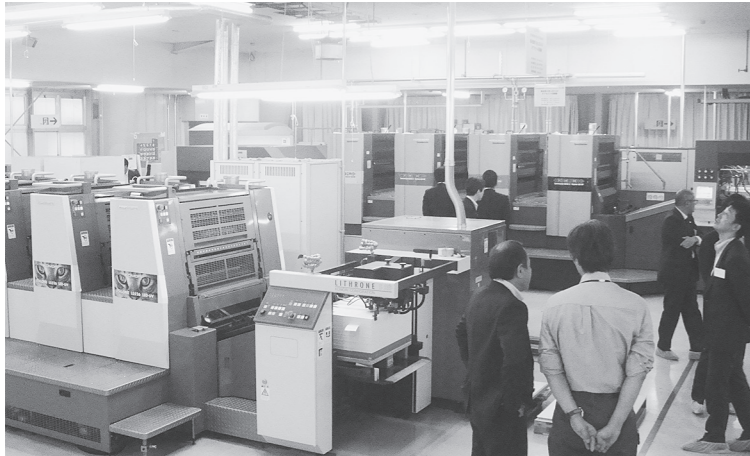
「S」はSustainable。日本WPA自らも宣言した関連のSDGs(持続可能な開発目標)の目的に沿った行動を実施し、さまざまなサービスや技術を通して、環境保全、持続的な革新のサービスを提供する。3Wインキ(Water Washable Waterless UV Ink)やサブライムチェーンのCO2排出量算定に合わせた先進的な全体排出量算出サービスなどを検討する。



3Wインキマーク

Water Washable Waterless UV ink

「H」はHumanity。環境保全、持続的な革新のサービスを提供する。3Wインキ(Water Washable Waterless UV Ink)やサブライムチェーンのCO2排出量算定に合わせた先進的な全体排出量算出サービスなどを検討する。



清潔そのものの工場が高い品質を生む

キング印刷 全台LED・UV印刷運用 小量パッケージ特化で再生

キング印刷は、生き残りのためにこの工場を提供したキング印刷(福島市)は、昨年4月に会員となった。同社は1998年に創業し、福島県を中心に業務用印刷、商業印刷で成長してきたが、2000年以降、経営環境が次第に厳しくなる中、主力の年賀状印刷も減少傾向にあった。加えて、印刷機老朽化もかなり進んでいる。



伊東社長

伊東社長は、その経営方針について次のように話している。

「4年前から会社の建て直しに本格的に着手し、印刷の運用は再生が主目的で、8割が4年以内に入社した社員となっており、日々成長を見てくれています。」

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。



精英堂印刷 世界初のVOCフリー印刷実演

ローラー洗浄時も発生なし

精英堂印刷(山形県米沢市)は、水なし印刷でもVOC発生成分は含まれない。また、VOCフリー印刷の実演・見学会を開催した。水溶性UVインキ(3Wインキ)を使用し、洗浄時にもVOCを発生しない究極の環境対応印刷の公開となり、究極の環境対応印刷とされる。

実演は、ハイデルベルグの「スピードマスターXL105-6+LX+UV」で行い、通常のUVインキと同等の性能と作業性が確認された。印刷後のローラー洗浄時のVOC濃度測定では、VOCフリーの水溶性UVインキを使用した洗浄液で、通常の洗浄液よりもVOC濃度が約45ppm程度低減している。また、UVインキを使用した洗浄液では、通常の洗浄液よりもVOC濃度が約1000ppm以上低減している。フレキ印刷や、見学者から驚きの声が上がった。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

また、再生のために、再生印刷機を3年かけて導入し、新たに5台のLED-UV印刷機を導入し、環境負荷を低減する。また、LED-UV印刷機を導入することで、必然的に水なしLED-UV印刷にも取り組む必要が生じた。再生印刷機を導入し、印刷機の再生に力を入れている。

私たちは、3W印刷の普及を通じて大気汚染や印刷現場環境の改善をめざします

環境印刷は水なし印刷から水なし省電力印刷へ、さらに水なしVOCフリー印刷という新たな高みに向かいます

- VOC(揮発性有機化合物)をフリーにする水溶性UVインキ
- ローラー洗浄時のVOCフリーを実現
- 究極の環境対応印刷です
- 働きやすい職場づくり
- VOCフリーの印刷工場の実現